送りがなプリント はってん①（もとの かたちに もどす）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／もとの 形に もどす（1／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばを もとの かたちに もどす

文の 中の かたち　設**けて**　→　もとの かたち　設**ける**

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちに もどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) むらの ひとびとは はたけを 耕した。

もとの かたち **耕** ＿＿＿＿

(2) せんせいが みんなを 導いて くれた。

もとの かたち **導** ＿＿＿＿

(3) ふゆの ふとんは とても 厚かった。

もとの かたち **厚** ＿＿＿＿

(4) みんなの きたいに 応えます。

もとの かたち **応** ＿＿＿＿

(5) おばあさんが ぬのを 織って いる。

もとの かたち **織** ＿＿＿＿

(6) この みせは じてんしゃを 貸します。

もとの かたち **貸** ＿＿＿＿

(7) うまが とつぜん 暴れた。

もとの かたち **暴** ＿＿＿＿

(8)「みんなで ふねを 造ろう」と いった。

もとの かたち **造** ＿＿＿＿

(9) あきに やまで くりを 採ります。

もとの かたち **採** ＿＿＿＿

(10) むらは 貧しくて こまって いた。

もとの かたち **貧** ＿＿＿＿

(11) こたえを もう いちど 確かめて みる。

もとの かたち **確** ＿＿＿＿

(12) おうちの ひとの いう ことに 逆らわない。

もとの かたち **逆** ＿＿＿＿

できたら：もとの かたちを 声に 出して、文の かたちと くらべて みよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん①（ない・ます・よう）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ない・ます・よう　の　形（2／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ　ことばを　ない・ます・よう　の　形に　する

れい　構える（かまえる）　　ない　**構えない**　　ます　**構えます**　　よう　**構えよう**

かん字の　あとの　送りがなは、形が　かわっても　「もとの　かたちの　送りがなの　はじまり」から　書く。

ことばごとに、ない・ます・よう　の　形に　なるように　かん字の　あとに　送りがなを　書こう。

もとの　かたち

張る

（はる）

ない	いけに　こおりが　はらない。	張＿＿＿＿
ます	ふゆは　こおりが　はります。	張＿＿＿＿
よう	みんなで　テントを　はろう。	張＿＿＿＿

もとの　かたち

過ごす

（すごす）

ない	きょうは　いえで　すごさない。	過＿＿＿＿
ます	なつは　いなかで　すごします。	過＿＿＿＿
よう	みんなで　たのしく　すごそう。	過＿＿＿＿

もとの　かたち

備える

（そなえる）

ない	ぼうさいに　なにも　そなえない。	備＿＿＿＿
ます	じしんに　そなえます。	備＿＿＿＿
よう	みんなで　たいふうに　そなえよう。	備＿＿＿＿

もとの　かたち

保つ

（たもつ）

ない	ねないと　げんきを　たもたない。	保＿＿＿＿
ます	へやを　きれいに　たもちます。	保＿＿＿＿
よう	まちを　きれいに　たもとう。	保＿＿＿＿

できたら：3つの　形を　声に　出して、かん字の　あとが　どこから　かわるか　たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん①（ただしいのは どれ？）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ただしい 書き方を えらぶ（3／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

まちがいの 書き方は 2しゅるい

× **送りたりない** … かん字の あとの 送りがなが たりない　　×責た

× **送りすぎ** … かん字が 読む ところまで ひらがなに してしまう　　×責せめた

ただしい 書き方：責めた

文の ＿＿＿に あう ただしい 書き方を 1つ えらんで、○を つけよう。

(1) この かべは ＿＿＿＿＿ じょうぶだ。

厚て　厚くて　厚つくて

(2) せんせいが てほんを ＿＿＿＿＿。

示した　示めした　示た

(3) たんじょうびに ともだちを ＿＿＿＿＿。

招いた　招ねいた　招た

(4) むらの くらしが ＿＿＿＿＿ なった。

貧ずしく　貧しく　貧く

(5) じぶんの いけんを ＿＿＿＿＿。

述のべた　述た　述べた

(6) しごとを ともだちに ＿＿＿＿＿ おく。

任せて　任て　任かせて

(7) おやつが ＿＿＿＿＿ しまった。

余まって　余って　余て

(8) うっかり ふくろを ＿＿＿＿＿ しまった。

破て　破ぶって　破って

(9) あたらしい へやに ＿＿＿＿＿ きた。

移て　移って　移つって

(10) プールの みずが ＿＿＿＿＿。

減へった　減た　減った

(11) しらない みちで ＿＿＿＿＿ しまった。

迷よって　迷て　迷って

(12) みんなで テーブルを ＿＿＿＿＿。

囲んだ　囲こんだ　囲だ

できたら：えらんだ 書き方を 声に 出して、文に あてはめて 読んでみよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／うごく ことばの て・た形（4／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あたらしい きまりを もうけた。

設 けた ＿＿＿＿

れい ともだちを せめて しまった。

責 めて ＿＿＿＿

考え方	れい1	れい2
① もとの かたちに もどす	もうける	せめる
② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける	↓ 設**ける**	↓ 責**める**
③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く	↓ 設**けた**	↓ 責**めて**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ねこの かずが ふえて きた。

増 ＿＿＿＿

(2) ふたつの おもさを くらべて みる。

比 ＿＿＿＿

(3) たきびの ひが あかく もえた。

燃 ＿＿＿＿

(4) たまごを よく まぜて から やく。

混 ＿＿＿＿

(5) むかしの ひとが おしろを きずいた。

築 ＿＿＿＿

(6) むずかしい もんだいを といて みた。

解 ＿＿＿＿

(7) にもつを りょうてで ささえて いる。

支 ＿＿＿＿

(8) あたらしい がっこうに なれた。

慣 ＿＿＿＿

(9) マスクで かぜを ふせいで いる。

防 ＿＿＿＿

(10) かべの ちかくに つくえを よせた。

寄 ＿＿＿＿

(11) おぼれて いた こいぬを すくった。

救 ＿＿＿＿

(12) しあいに かって みんなで よろこんだ。

喜 ＿＿＿＿

できたら：こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みに なるか たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん①（ぶんしょうの なかで）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ぶんしょうの 中で 書く（5／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ぶんしょうの 線の ことばの かたちに なるように、下の 番ごうの 線に 送りがなを 書こう。

1 えんそくの ひ

えんそくの バスは ひとで ① こんで いた。やまの うえで みんなで テントを ② はった。おべんとうを たべると、おにぎりが ひとつ ③ あまった。かえりの バスでは みんな しずかに ④ すごして いた。

①混＿＿＿＿ ②張＿＿＿＿ ③余＿＿＿＿ ④過＿＿＿＿

2 ぼうさいくんれん

きょうは ぼうさいの ひだ。じしんに ⑤ そなえて、みんなで くんれんを した。せんせいが にげる みちを ⑥ しめして くれた。ひを けして、にもつを ひろい ばしょへ ⑦ うつした。みんなは さいごまで おちついた きもちを ⑧ たもった。

⑤備＿＿＿＿ ⑥示＿＿＿＿ ⑦移＿＿＿＿ ⑧保＿＿＿＿

3 むかしの むら

おじいさんの はなしを きいた。むかしの この むらは ⑨ まずしかった そうだ。それでも みんなで ひろい はたけを ⑩ たがやして、こめを つくった。ひとびとは おおいに ⑪ よろこんで、まずしさも すこしずつ ⑫ へって いった。

⑨貧＿＿＿＿ ⑩耕＿＿＿＿ ⑪喜＿＿＿＿ ⑫減＿＿＿＿

できたら：ぶんしょうを はじめから 声に 出して 読み、書いた 送りがなで 読みが 合うか たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん①（もとの　かたちに　もどす）【こたえ】　なまえ＿＿＿＿＿＿

小5／もとの　形に　もどす（1／5）　ひづけ＿＿＿＿＿＿

形が　かわった　ことばを　もとの　かたちに　もどす

文の　中の　かたち　**設けて**　→　もとの　かたち　**設ける**

もとの　かたちを　声に　出して　言ってから、かん字の　あとに　送りがなを　書く。

線の　ことばを、もとの　かたちに　もどして　かん字の　あとに　送りがなを　書こう。

(1) むらの　ひとびとは　はたけを　耕した。

もとの　かたち　耕す

(2) せんせいが　みんなを　導いて くれた。

もとの　かたち　導く

(3) ふゆの　ふとんは　とても　厚かった。

もとの　かたち　厚い

(4) みんなの　きたいに　応えます。

もとの　かたち　応える

(5) おばあさんが　ぬのを　織って いる。

もとの　かたち　織る

(6) この　みせは　じてんしゃを　貸します。

もとの　かたち　貸す

(7) うまが　とつぜん　暴れた。

もとの　かたち　暴れる

(8)「みんなで　ふねを　造ろう」と　いった。

もとの　かたち　造る

(9) あきに　やまで　くりを　採ります。

もとの　かたち　採る

(10) むらは 貧しくて　こまって　いた。

もとの　かたち　貧しい

(11) こたえを　もう　いちど　確かめて みる。

もとの　かたち　確かめる

(12) おうちの　ひとの　いう　ことに　逆らわない。

もとの　かたち　逆らう

つまずきやすいところ

もどした あとの 送りがなは「もとの かたち」の 送りがな（耕す→す、厚い→い）。活用形を そのまま 書かせない。
ない・ます・よう や かった・くて の 形も、もとの 形では 同じ 語に なる。
採点：漢字の あとの 送りがなだけで 正（もとの 形全体の ひらがなは 書かなくて よい）。

いちごドリル プリント

送りがなプリント　はってん①（ない・ます・よう）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ない・ます・よう　の　形（2／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ　ことばを　ない・ます・よう　の　形に　する

れい　構える（かまえる）　　ない　**構えない**　　ます　**構えます**　　よう　**構えよう**

かん字の　あとの　送りがなは、形が　かわっても　「もとの　かたちの　送りがなの　はじまり」から　書く。

ことばごとに、ない・ます・よう　の　形に　なるように　かん字の　あとに　送りがなを　書こう。

もとの　かたち

張る

（はる）

ない　いけに　こおりが　はらない。　→　張らない

ます　ふゆは　こおりが　はります。　→　張ります

よう　みんなで　テントを　はろう。　→　張ろう

もとの　かたち

過ごす

（すごす）

ない　きょうは　いえで　すごさない。　→　過ごさない

ます　なつは　いなかで　すごします。　→　過ごします

よう　みんなで　たのしく　すごそう。　→　過ごそう

もとの　かたち

備える

（そなえる）

ない　ぼうさいに　なにも　そなえない。　→　備えない

ます　じしんに　そなえます。　→　備えます

よう　みんなで　たいふうに　そなえよう。　→　備えよう

もとの　かたち

保つ

（たもつ）

ない　ねないと　げんきを　たもたない。　→　保たない

ます　へやを　きれいに　たもちます。　→　保ちます

よう　まちを　きれいに　たもとう。　→　保とう

つまずきやすいところ

張らない・張ります・張ろう … おわりの 音は あ・い・お と かわるが、漢字は 「張」の まま。
備えない・備えます・備えよう … 音は かわらず、もとの 送りがなの 「え」から 送る。
採点：線の はんいだけで よい（文の おわりの 「。」までは 書かなくて よい）。

送りがなプリント　はってん①（ただしいのは　どれ?）【こたえ】　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ただしい　書き方を　えらぶ（3／5）　　ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

まちがいの　書き方は　2しゅるい

× **送りたりない** … かん字の　あとの　送りがなが　たりない　　×責た

× **送りすぎ** … かん字が　読む　ところまで　ひらがなに　してしまう　　×責せめた

ただしい　書き方：責めた

文の　＿＿＿に　あう　ただしい　書き方を　1つ　えらんで、○を　つけよう。

(1) この　かべは ＿＿＿＿＿ じょうぶだ。

厚て（×送りたりない）　**厚くて**　厚つくて（×送りすぎ）

(2) せんせいが　てほんを ＿＿＿＿＿。

示した　示めした（×送りすぎ）　示た（×送りたりない）

(3) たんじょうびに　ともだちを ＿＿＿＿＿。

招いた　招ねいた（×送りすぎ）　招た（×送りたりない）

(4) むらの　くらしが ＿＿＿＿＿ なった。

貧ずしく（×送りすぎ）　**貧しく**　貧く（×送りたりない）

(5) じぶんの　いけんを ＿＿＿＿＿。

述のべた（×送りすぎ）　述た（×送りたりない）　**述べた**

(6) しごとを　ともだちに ＿＿＿＿＿ おく。

任せて　任て（×送りたりない）　任かせて（×送りすぎ）

(7) おやつが ＿＿＿＿＿ しまった。

余まって（×送りすぎ）　**余って**　余て（×送りたりない）

(8) うっかり　ふくろを ＿＿＿＿＿ しまった。

破て（×送りたりない）　破ぶって（×送りすぎ）　**破って**

(9) あたらしい　へやに ＿＿＿＿＿ きた。

移て（×送りたりない）　**移って**　移つって（×送りすぎ）

(10) プールの　みずが ＿＿＿＿＿。

減へった（×送りすぎ）　減た（×送りたりない）　**減った**

(11) しらない　みちで ＿＿＿＿＿ しまった。

迷よって（×送りすぎ）　迷て（×送りたりない）　**迷って**

(12) みんなで　テーブルを ＿＿＿＿＿。

囲んだ　囲こんだ（×送りすぎ）　囲だ（×送りたりない）

つまずきやすいところ

送りたりない＝厚て・示た（2字目から 落とす）。送りすぎ＝厚つくて・示めした（読みの 一部まで 送る）。
書かずに 選ぶ 枚（書く 負担は 小さい。目で たしかめる 枚）。正しい 書き方の 位置は 毎問 かわります。
採点：○が 正しい 1つに ついていれば 正。長い・短い だけで 決めさせない。

送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）【こたえ】 なまえ ＿＿＿＿＿＿

小5／うごく ことばの て・た形（4／5） ひづけ ＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あたらしい きまりを もうけた。

設 けた

れい ともだちを せめて しまった。

責 めて

考え方	れい1	れい2
① もとの かたちに もどす	もうける	せめる
② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける	↓ 設**ける**	↓ 責**める**
③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く	↓ 設**けた**	↓ 責**めて**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ねこの かずが ふえて きた。

増 えて（もと：増える）

(2) ふたつの おもさを くらべて みる。

比 べて（もと：比べる）

(3) たきびの ひが あかく もえた。

燃 えた（もと：燃える）

(4) たまごを よく まぜて から やく。

混 ぜて（もと：混ぜる）

(5) むかしの ひとが おしろを きずいた。

築 いた（もと：築く）

(6) むずかしい もんだいを といて みた。

解 いて（もと：解く）

(7) にもつを りょうてで ささえて いる。

支 えて（もと：支える）

(8) あたらしい がっこうに なれた。

慣 れた（もと：慣れる）

(9) マスクで かぜを ふせいで いる。

防 いで（もと：防ぐ）

(10) かべの ちかくに つくえを よせた。

寄 せた（もと：寄せる）

(11) おぼれて いた こいぬを すくった。

救 った（もと：救う）

(12) しあいに かって みんなで よろこんだ。

喜 んだ（もと：喜ぶ）

つまずきやすいところ

増て・比て のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。
もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。
採点：線の はんいだけで よい（あとに つづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正）。

送りがなプリント　はってん①（ぶんしょうの　なかで）【こたえ】　なまえ ＿＿＿＿＿＿

小5／ぶんしょうの　中で　書く（5／5）　ひづけ ＿＿＿＿＿＿

ぶんしょうの　線の　ことばの　かたちに　なるように、下の　番ごうの　線に　送りがなを　書こう。

1　えんそくの　ひ

えんそくの　バスは　ひとで　①こんで　いた。やまの　うえで　みんなで　テントを　②はった。おべんとうを　たべると、おにぎりが　ひとつ　③あまった。かえりの　バスでは　みんな　しずかに　④すごして　いた。

①混んで　②張った　③余った　④過ごして

2　ぼうさいくんれん

きょうは　ぼうさいの　ひだ。じしんに　⑤そなえて、みんなで　くんれんを　した。せんせいが　にげる　みちを　⑥しめして　くれた。ひを　けして、にもつを　ひろい　ばしょへ　⑦うつした。みんなは　さいごまで　おちついた　きもちを　⑧たもった。

⑤備えて　⑥示して　⑦移した　⑧保った

3　むかしの　むら

おじいさんの　はなしを　きいた。むかしの　この　むらは　⑨まずしかった　そうだ。それでも　みんなで　ひろい　はたけを　⑩たがやして、こめを　つくった。ひとびとは　おおいに　⑪よろこんで、まずしさも　すこしずつ　⑫へって　いった。

⑨貧しかった　⑩耕して　⑪喜んで　⑫減って

つまずきやすいところ

線の ことばは かなで 見える ので、もとの 形を 先に 思い うかべさせ、漢字の あとの はじまりを たしかめさせます。
答えは 文章の 下の 番ごうの 欄に 書く。となりの ひらがなの 部分は 採点に 入れない。
採点：線の はんいだけで 正（文章を 声に 出して 読み、読みが 合うか たしかめさせます）。